



あなたは大丈夫？COPD

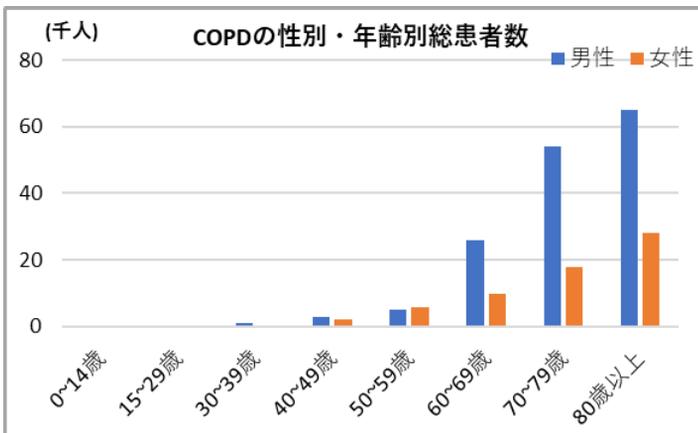
皆さんはCOPD（慢性閉塞性肺疾患）という疾患をご存知でしょうか。一般的にはあまり知られていない疾患ですが、悪化すると生活に支障をきたし、生命にかかわることもあります。

■ COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは

有毒な粒子やガスを吸入することで発症する疾患です。発症後は緩やかに進行し、徐々に**運動時の息切れなど呼吸困難、慢性的な咳・痰**などの症状が現れます。悪化すると肺炎につながります。主な原因は**喫煙**です。他にも粉塵や化学物質の吸引、**受動喫煙**などによって発症します。

■ COPDの現状と今後

2017年時点で**COPDの治療を受けている患者数は22万人**です。患者数は女性より男性の方が多く、年齢とともに増加する傾向にあります。[出典：平成29年（2017）患者調査の概況 厚生労働省]
また、2001年に行われた大規模疫学調査（NICEスタディ）にて、**COPDの推定患者数は500万人以上**という結果が報告されました。そのため、COPDを患っているながら**適切な治療を受けていない方が多くいる**と考えられています。



■ 予防・改善には禁煙が最も効果的

予防・改善において最も大切なことは**禁煙**です。喫煙を続けていると、呼吸機能の悪化が加速してしまいます。

COPDは完治しない疾患ですが、薬物療法や呼吸リハビリテーションといった治療によって進行を遅らせ、生活をスムーズにすることができます。**気になる症状がある方やご家族の症状が気になる方は、医療機関の受診を検討しましょう。**

当国保組合で特定健診を受けた方全体の喫煙率は**28.2%**です。そのうち**40～45歳男性の喫煙率は50.7%**で、**約半数の方が喫煙されています**。ご自身やご家族の健康のために、**ぜひ禁煙をご検討ください**。
当国保組合令和3年度特定健診質問票の分析より

【引用・参考】

- 1) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防・早期発見に関する検討会 第一回 厚生労働省
- 2) 平成29年（2017）患者調査の概況 厚生労働省